

岐阜信金、純利益20%増

3月期有価証券関係伸びる

岐阜信用金庫（岐阜市神田町）が15日発表した2016年3月期単体決算は、株式売却益など有価証券関係損益が増加し、純利益が前期比20・9%増の89億2400万円と大幅に増加した。増益は3期連続。

金融機関間の競争激化による金利低下で貸出金利が減少したほか、与信関係費用も増加するなど減益要因があったものの、有価証券関係損益の伸びがカバーした。経常利益も14・9%増の101億6500万円で、3期連続で増益となった。本業の収益力を示す実

質業務純益は、資金利益の低下で16・4%減

の58億6900万円。2・2%増の2兆25

34億円。期末貸出金残高は、中小企業を中心に資金需要の高まりを背景に事業性融資が増加し、1・0%増の1兆2980億円だった。財務の健全性を示す自己資本比率は0・31%上昇の10・79%

県内金融機関2016年3月期決算

	経常収益	経常損益	純損益
岐阜信用金庫			
(単)	37,298	(1.6)	10,165
(予)	—	—	8,924

【注】単位は百万円、%。(単)は単体、(予)は2017年3月期予想。かっこ内は前期比増減率。—は非公表。

で、国内基準の4%をス金利の影響で、収益が変動する可能性があるとして公表しなかった。日銀が導入したマイナ